
b アクセス Ver.2.2

使用説明書

はじめに

b アクセス（以下、「本ソフトウェア」といいます）は b モバイルによる通信をより快適に利用いただくためのソフトウェアです。

本ソフトウェアはフリーウェアですので、サポートの対象外とさせていただきます。日本通信（株）では本ソフトウェアに関するクレームおよびお問い合わせにはお答えできませんので予めご了承下さい。

おことわり

本ソフトウェアは、本製品の使用許諾制約のもとでのみ使用することが出来ます。

お客様が本ソフトウェアを使用したことにより、被ったいかなる直接的、間接的または、偶発的損害も賠償致しかねますので、ご了承下さい。

使用されているパソコンのシステム構成他によっては正常に動作しなかったり、全く動作しない場合がありますのであらかじめご了承下さい。

本ソフトウェアの一部または全部を無断で複製、販売、譲渡、ネットワークにより提供することを禁止します。

本ソフトウェアの仕様及びマニュアルに記載されている事項は、将来予告無しに変更することがあります。本ソフトウェアを改造、変更すること、及び本ソフトウェアの機能等に変更を加えることを目的としたプログラムを作成、使用、譲渡、貸出またはネットワークにより提供することを禁止します。本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることを禁止します。

動作環境

オペレーティングシステム： Windows 98 SecondEdition / Windows Me / Windows 2000 / Windows XP
ブラウザ： InternetExplorer 5.5SP2 / InternetExplorer 6.0

InternetExplorer を使用しない場合も、本ソフトウェアのインストールを行う前に、最新のサービスパックをインストールしておいてください

Windows 98 / Windows Me / Windows 2000 / Windows XP は、米国 Microsoft Corp.の登録商標です。

Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

その他、商品名および製品名などは一般に各社の商標または登録商標です。

* **インストールの前に、必ず InternetExplorer のバージョンを確認ください。**

* **InternetExplorer のバージョンが 5.5SP2 以前のものである場合は、必ず 5.5SP2 以降のバージョンにアップデートした後に b アクセスのインストールを行ってください。**

b アクセス Version 2.2

使用説明書

Windows 98 SE/ Windows ME

Windows 2000 /Windows XP

BMH10-J および BMH10C-J 以外での動作保証は致しかねますので、予めご了承ください。

1. b アクセスの起動

1-1. 起動方法

b アクセスの起動

1. デスクトップのb アクセスのショートカットをダブルクリックします。



b アクセスのアイコン

2. b アクセスは起動してすぐにダイアルアップを開始します



標準の設定ではb アクセスの起動後すぐにダイアルアップを開始し、標準に設定されているブラウザを起動します。起動時に自動でダイアルアップを行わないようにするには「設定」タブの「b アクセスを起動したら自動的に[接続]する」のチェックボックスをはずしてください。

2 . bアクセスの使用方法

2 - 1 . ダイヤルアップ接続の方法

ダイヤルアップ接続を行う

接続タブでダイヤルアップ接続および切断を行うことができます。

The screenshot shows the 'bアクセス Ver. 2.2 for U50' application window. The '接続' (Connection) tab is active. The interface includes fields for 'アクセスポイント' (Access Point), 'ユーザー名' (Username), and 'パスワード' (Password). The '通信モード' (Communication Mode) is set to 'シングルリンク' (Single Link). The '有効期限' (Validity Period) is shown as '03/04/19'. The '状態' (Status) is '接続中' (Connected). There are buttons for 'ダイヤル' (Dial), '中止' (Cancel), '接続' (Connect), and '切断' (Disconnect). A 'STATUS' indicator is shown with a green bar.

Callouts provide the following information:

- アクセスポイントの種類が表示されます。
- ダイヤルアップ接続で保存されているユーザー名、パスワードが表示されます。変更が可能です。(注4)
- ダイヤルアップ接続時に確認ボタンを押すと接続中のカードの有効期間を表示します。(注4)
- 対象となるダイヤルアップの接続、切断を行うことができます。
- チェックボックスにチェックを入れるとリダイヤルが行えます。
- データカードの状態を表示します。
ダイヤルアップ確立後 緑
ダイヤルアップ中 橙
モデムが使われていない状態 黒
電波強度測定中 赤

注1) Windows のダイヤルアップ接続アイコンから設定に変更を加えた場合、それらの設定はbアクセスには反映されません。

注2) 同じモデムを使用するダイヤルアップ接続が複数ある場合は、接続済みのダイヤルアップ接続を切断してからもう一方のダイヤルアップ接続を接続してください。

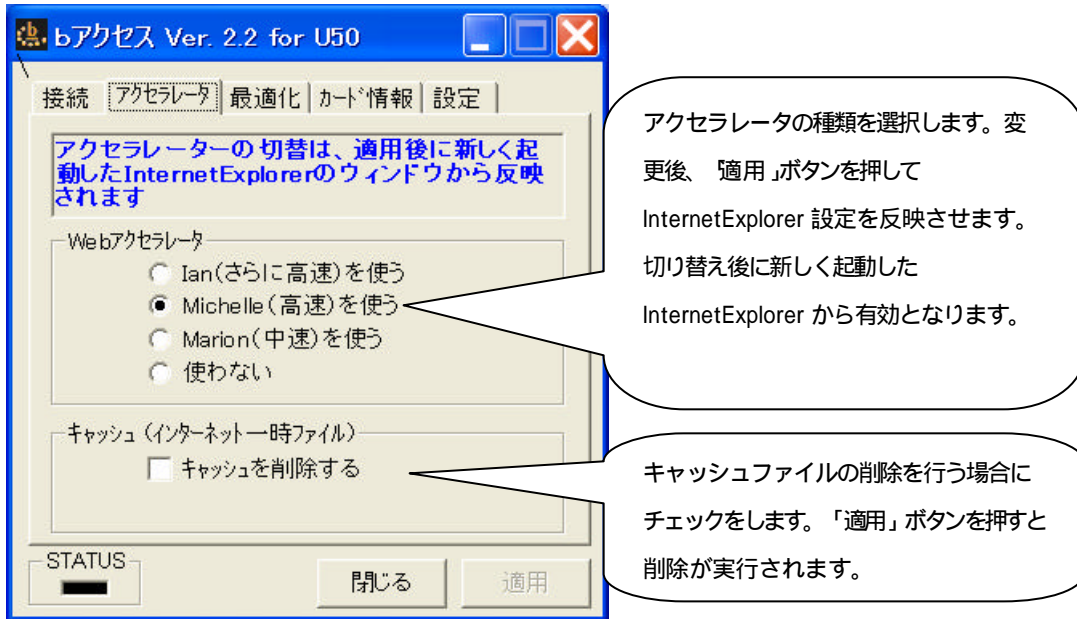
注3) ユーザー名、パスワード、通信モードの項目は「適用」ボタンを押すと保存されます。

注4) ユーザー名とパスワードを変更して接続するには、bモバイルユーザー登録ページからご自身の認証ユーザー名・パスワードを事前に変更しておく必要があります。
有効期限が最新の情報の時は、日時が青色で表示されます。

2 - 2 . アクセラレータの設定切替方法

アクセラレータの設定切替を行う

Web アクセラレータの切り替え、キャッシュファイルの削除 (インターネット一時ファイルの削除)を行うことができます。



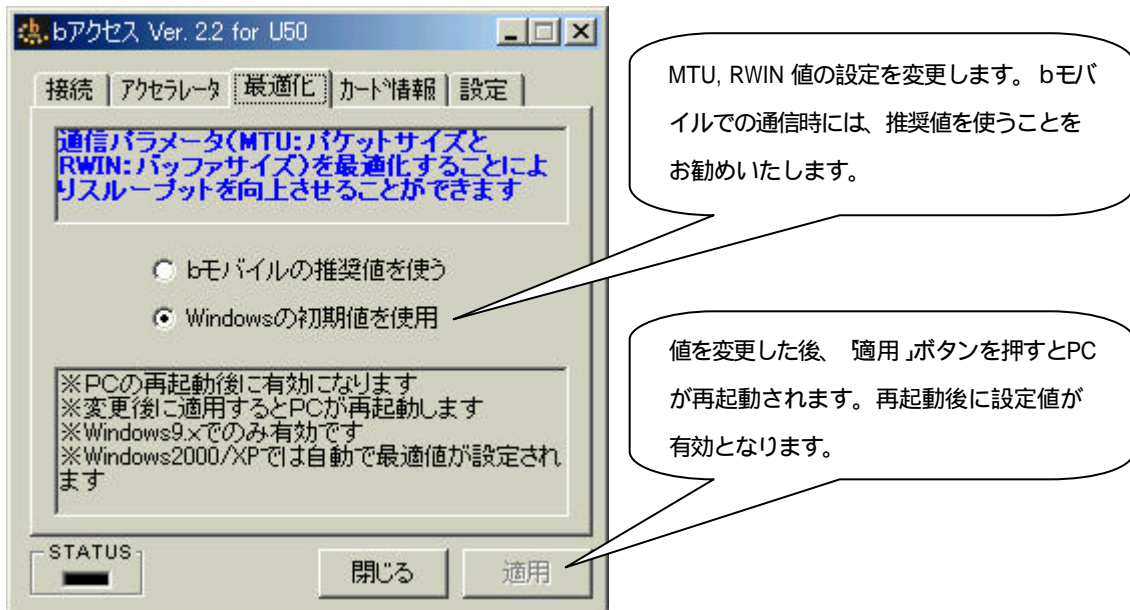
注1) bアクセス以外でアクセラレータの設定を行った場合は実際のアクセラレータの設定が正しく表示されない場合があります。

注2) この機能でアクセラレータの設定を切り替えると、HTTP 以外で設定していたプロキシサーバーの情報や例外の設定情報は失われますのでご注意ください。

2 - 3 . 通信を最適化する方法

TCP/IP の最適化設定

通信タブで PC の通信条件 (RWIN と MTU) の設定値を変更することができます。この機能は Windows 98 SecondEdition, Windows Me)のみで利用可能です。



注1) Windows 98 SecondEdition, Windows Me では MTU / RWIN の設定を初期値から推奨値に変更することによって b モバイルでの通信効率が向上します。

注2) Windows 2000, Windows XP では MTU / RWIN の設定は行えません。

2 - 4 . b-mobile 通信カード情報および周囲の電波状況の確認

モデムの情報を得る

電波タブでbモバイルデータカードの情報を表示することができます。

ダイヤルアップ接続中は測定できません。

接続を切断すると「測定」ボタンがアクティブに変わり測定が出来ます。

測定した電波は時間の経過とともに変化いたしますので、接続完了後の電波状況とは異なります。



「測定」ボタンを押すと通信カードの種類、PHS番号、ファームウェアバージョン、空きチャンネル、電波強度が表示されます（しばらく時間がかかります）。

表示結果について

使用モデム・PHS番号・ファームウェア

ご使用の通信カードの情報を表示します。

空きチャンネル

測定を行った時点での基地局との接続が可能な通信リンクの数を表示します。

最大は4つまでです。

電波強度

カードから見える基地局の数と、それぞれの基地局のカードに到達した電波の強度を表示します。電波強度の横方向は基地局の数を、縦方向はそれぞれの電波の強さを示します。

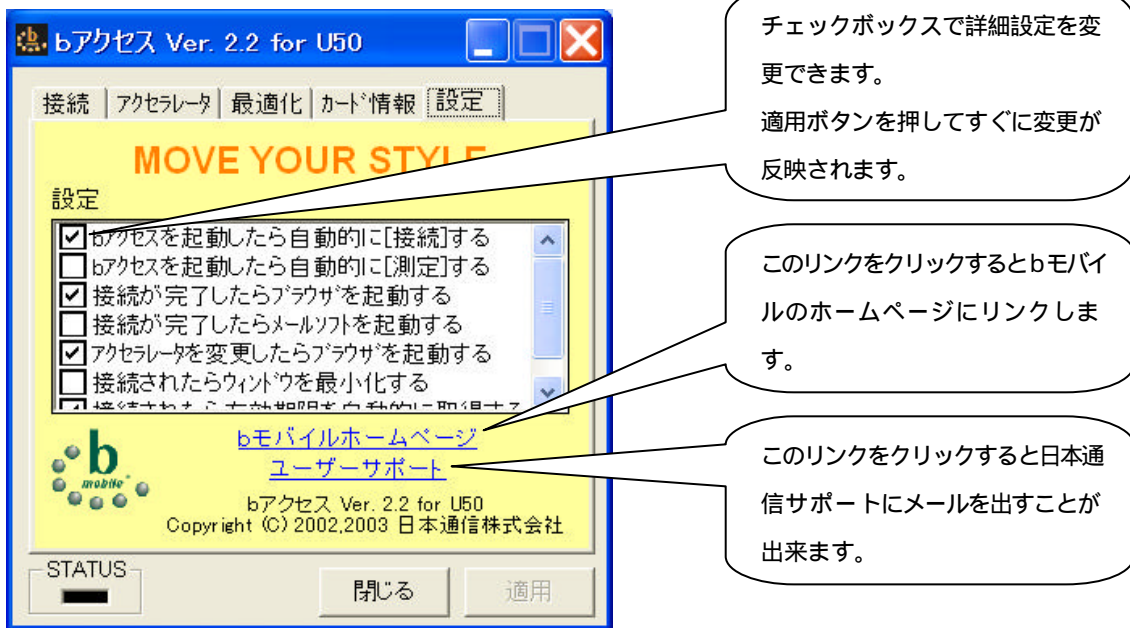
2 - 5 . bアクセス設定情報

設定を確認・変更する

設定タブでbアクセスの設定の確認を行うことができます。

設定の変更は各項目のチェックボックスで行うことができます。

変更後「適用」ボタンを押すとすぐに変更が反映されます。



bアクセスを起動したら自動的に [接続] する (標準設定 : ON)

- 起動してすぐにダイヤルアップを開始します。「起動したら自動的に [測定] する」設定が同時にされている場合は測定後に接続を開始します。

bアクセスを起動したら自動的に [測定] する (標準設定 : OFF)

- 起動してすぐに電波強度測定をします。

接続が完了したらブラウザを起動する (標準設定 : ON)

- ダイヤルアップ完了後「標準で使用しているブラウザ」を起動します。

接続が完了したらメールソフトを起動する (標準設定 : OFF)

- ダイヤルアップ完了後「標準で使用しているメールソフト」を起動します。

アクセラレーターを変更したらブラウザを起動する (標準設定 : ON)

- アクセラレーターの変更後「適用」ボタンを押すとブラウザが新たに起動します。

接続されたらウィンドウを最小化する (標準設定 : OFF)

- ダイヤルアップ完了後bアクセスをタスクバーへ隠します。

接続されたら、有効期限を自動的に取得する。(標準設定 : ON)

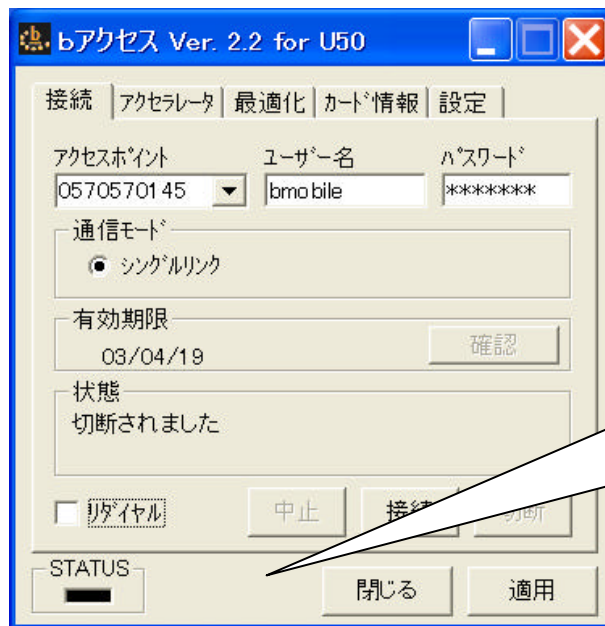
- ダイヤルアップ完了後、有効期間を取得します。

2 - 6 . その他の使い方

その他の操作

ウィンドウのサイズを変える

ウィンドウのタブやボタン以外のところをダブルクリックするとウィンドウサイズが小さくなります。



ウィンドウのタブやボタン以外のところをダブルクリックするとウィンドウサイズが小さくなります。再度ダブルクリックすると元の大きさに戻ります。



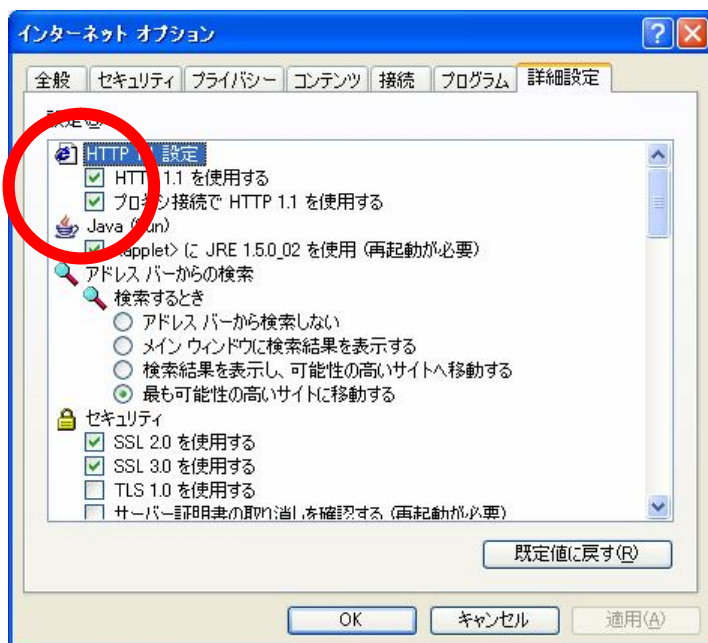
小さくなったウィンドウの中をダブルクリックすると元の大きさに戻ります。

ManualVersion2.2

SoftwareVersion2.2

追加情報-HTTP1.1 への対応方法変更について

Internet Explorer をご利用の場合 b アクセスを起動すると効率的な通信が行えるよう HTTP1.1 という転送規格を使用する機能を有効にします。



なお、この設定は b アクセスの起動時に設定されます。

通常は問題ありませんが、ウェブページで表示が正しくおこなわれない場合にはインターネットオプションの設定を変更することで回避してください。

1. Internet Explorer のメニューから[ツール]–[インターネット オプション]を選択します。
2. [詳細設定]タブを選択し、「HTTP 1.1 設定」項目の「HTTP 1.1 を使用する」および「プロキシ接続で HTTP1.1 を使用する」のチェックを外します。
3. [適用]ボタンをクリックし、[OK]をクリックして設定変更を終了します。

ManualAppendix-050603